

## 令和7年度稲敷市校長会 会務計画

稲敷市校長会

人工知能（AI）、ビッグデータ、Internet of Things(IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられたSociety5.0時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど劇的に変わる状況が生じつつある。また、海外における軍事侵攻の長期化により、国際情勢も不安定化しており、まさに先行き不透明な「予測困難な時代」となってきた。

このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要である。そのためには、今まで行われてきた「日本型学校教育」の成果と課題を踏まえた上で、必要な改革を躊躇なく進めることで、従来の日本型学校教育を発展させ、「教育振興計画の理念（自立・協働・創造）の継承、学校における働き方改革の推進、GIGAスクール構想の充実、学習指導要領の実施を踏まえて、「令和の日本型学校教育」を実現することが不可欠である。本市においては、「稲敷市教育振興基本計画〈第3期〉」において、「未来を担ういなしきっ子の育成」、「いなしきっ子が学ぶ質の高い教育環境の充実」を基本目標とし、課題解決に向けて自ら考え表現するいなしきっ子の育成やグローバル人材を育成する教育の充実、各教科の特質を踏まえた1人1台端末の活用の推進、一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実等を重点的取組として掲げている。

このような国・市の動向を踏まえた上で、これまでも取り組み続けてきた学力向上を始め、規範意識や社会性の醸成、体力の向上、いじめ、不登校問題への対応、児童生徒の健康及び安全・安心の確保等のより一層の充実と、就学前教育の充実のための幼児教育・保育との連携及び円滑な接続等により、子どもたちの社会性と自主性・自立性をこ幼保小中の教育活動で一貫して育んでいかなければならない。校長には、保護者や地域社会の願いと自らの使命に真摯に向き合い、将来の日本や郷土を担っていく子どもたちの可能性を引き出す活力に満ちた信頼される学校づくりを推進していくことが求められている。

稲敷市校長会は、先達の築かれた業績と精神を継承し、いばらき教育プランや学校教育指導方針、稲敷市教育振興基本計画を踏まえるとともに、GIGAスクール構想に基づいて他市町村に先んじて配備された1人1台タブレット端末を効果的に活用し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成等のバランスを図りながら「生きる力」の育成に努める。さらに、確かな学力と豊かな心を持ち、郷土愛に満ちた、未来を拓くたくましい児童生徒の育成のために、英知と情熱を結集して、教育の一層の充実を図り、保護者や地域社会の信頼と期待に応えたい。

## 《会務方針》

### 1 三者合同研修共通テーマ

すべての子どもの可能性を引き出す活力に満ちた信頼される学校づくり

### 2 活動目標

- (1) 学習指導要領の趣旨を生かし、一人一人の豊かな学びの実現に向けた特色ある教育課程の編成・実施と評価・改善を通して、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体の育成に努める。
- (2) 児童生徒が、夢と希望をもち、共に生きることの大切さを実感し、一人一人のかけがえない命を尊ぶ教育の推進に努める。
- (3) 研究と修養に励み、教育の専門家としての確かな力量を備え、広く社会から尊敬・信頼される教職員の育成に努める。
- (4) 児童生徒の安全・安心を確保するとともに、学校・家庭・地域社会との協働体制をつくり、地域と一体になって児童生徒を育む「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。
- (5) 国際化社会、高度情報化社会、少子・高齢化社会及び科学技術の進展や地球環境の変化等に適切に対応する教育活動の推進に努める。

### 3 本年度の重点課題（◎は最重点課題）

- (1) 学習指導や生徒指導等、主に児童生徒に関わること
  - ◎ 児童生徒の学力の向上（「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善）
  - ◎ 学校の課題に応じたカリキュラム・マネジメントの確立
  - ◎ フリースクールの設置等一人一人を大切にしない不登校・いじめを生まない学校づくり
  - ◎ 小学校外国語科・中学年の外国語活動及び中学校英語の充実による英語教育の推進
  - 特別活動の充実による学校教育活動の活性化
  - 特別支援教育の充実とインクルーシブ教育システムの構築
  - 「特別の教科 道徳」の充実
  - シティズンシップ教育の推進
- (2) 主に教職員に関わること
  - ◎ 児童生徒に効果的な教育活動を持続的に行うための働き方改革の推進
  - ◎ キャリアステージに応じた教職員の育成
  - 人材育成のための教員評価・人事評価のあり方
- (3) その他学校経営全般に関わること
  - ◎ こ幼保小中連携の充実
  - ◎ 地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の推進
  - ◎ 信頼される学校づくりのための危機管理・学校安全

#### 4 推進の重点

##### (1) 組織活動の充実強化

- ① 本部役員会を定期的を開催し、会務の推進、調整にあたる。
- ② 新任者等の支援に組織として取り組む。
- ③ 行事調整委員会は、副会長1名が委員長となり、各種教育機関、団体との連絡を密にし、行事の精選及び調整、組織の調整及び研究にあたる。
- ④ 専門委員は、県学校長会専門委員として、専門的な活動を行う。

##### (2) 研修、調査活動の充実

- ① 研修テーマに即したレポートや資料をもとにグループ協議を中心とした研修会を行う。
- ② 研修委員会は、教頭会・教務主任会との連携を図り、研修の充実に努める。
- ③ 本会の研修課題の解決と本市教育発展のため、計画的に研修会を行う。
- ④ 研修会では、学校の課題解決のための協議及び情報交換を行う。
- ⑤ 各種大会に代表を派遣する。参加は県の割当による。

全連小九州大会 関ブロ小新潟大会 関地区中千葉大会 全日中香川大会

##### (3) 各種教育機関、団体との連絡・連携

- ① 各種教育機関、団体の年間行事の調整を行う。(行事調整委員会)
- ② 教頭会・教務主任会と連携し、各会運営の充実に図る。
- ③ 連携機関団体は次の通りである。

ア 全国小学校長会	イ 関ブロ小中学校長会	ウ 県学校長会
エ 県南ブロック校長会	オ 稲敷郡校長会	カ 県教育研究会
キ 稲敷市教育研究会	ク 稲敷市教頭会	ケ 稲敷市教務主任会
コ 小学校体育連盟	サ 中学校体育連盟	シ 市P T A連絡協議会
ス 稲敷市園長会	セ 退職校長会・退職公務員連盟	

##### (4) 渉外活動を推進する。

#### 5 その他

- (1) 慶弔は、規定により行う。

令和7年度 稲敷市校長会役員

会 長	小松原 剛	桜川中学校
副会長	星野 照明	あずま西小学校
	若林 克治	江戸崎中学校
幹事(庶務)	浅野 真由美	新利根小学校
幹事(会計)	川中 俊治	東中学校
監 事	富田 英彦	高田小学校
	池田 尚人	新利根中学校

◎ 県学校長会関係

常任評議員	小松原 剛
評議員	小松原 剛
	星野 照明
連絡幹事	浅野 真由美
	川中 俊治
小学校部長	星野 照明
中学校部長	小松原 剛
行財政委員○	森永 佐由美
法制委員○	神吉 哲寛
調査委員	森永 佐由美
広報委員	神吉 哲寛
教育センター評議員	小松原 剛
働き方改革推進委員	川中 俊治

◎ 市校長会関係

研修部長	二宮 隆二
研修副部長	星野 照明
研修副部長	神吉 哲寛
中体連会長 (部活動地域移行)	池田 尚人
	小松原 剛
教育会会長	細谷 順一郎
教育会副会長	飯塚 敏
行事調整委員長	星野 照明
市P連	池田 尚人
広報(創)	富田 英彦
先輩を囲んで教育を語る会 (監事が担当)	富田 英彦 池田 尚人

◎ 市教育研究会

会長	飯塚 敏
副会長	細谷 順一郎
副会長	森永 佐由美

◎ 学校運営研修会(相談役)

若林 克治	森永 佐由美
二宮 隆二	富田 英彦